

會を催すこともよいのであらうが、能ふべくんば常時的に、徐々として而かも不斷に、此方面に力を盡すことが大切である。而して、幼稚園の應接

室は、善く選擇せられ善く配列せられた表類や模範品類準備をして、常に此の目的の爲に世の親達を迎ふべきである。

幼兒教育と暗示

文學士 上野 陽 一

催眠術を施された人に向つて、「今大雪が降つて居て、貴方は凍えかゝつて居ます」といへば、如何にも寒さうな風をしてブル／＼と慄へ出します。

又「貴君の手は上下に動いて居ます」といへば、その通りに動きはじめます。かくの如く施術者が催眠者に向ひ、或影響を及ぼすために與へる所の通告を暗示と名づけます。

併しこの暗示は必ずしも催眠だけに限つたものではありません。覺醒時に於てもやはりこれに類した暗示の現象が見られます。これを前の催眠暗示に對して覺醒暗示と申しますが、今この覺醒

暗示を幼兒の教育特にその訓練や智育の上に応用することについて御話しませう。

一

暗示の現象を教育上に應用することは、決して耳新しいことでもなく、又珍らしい事柄でもありません。教育者又は父兄と子供とが相接觸する以上、そこに何等かの暗示關係が行はれて、或影響を與へるといふことは、有り得べきことであります。

併したゞ無意識の中に、知らず／＼さういふ關係が行はれるといふだけでは、未だ以て思慮ある教育と稱することは出来ません。將來は教育者が

よくこの暗示の原理を心理上から研究し、意識的に一定の案を定め、教育の目的を達する一つの手段としてこれを利用するやうにならなければならぬと思ひます。この點からいふと、教育者は催眠術の原理、特に暗示の現象効果について深く研究する所がなければなりません。勿論催眠術そのものは、常用の教育手段ではありませんが、それによつて教へらるゝ暗示の原理に至つては、その應用が廣くして且大であります。

フランスにギョーといふ人が居ました。この人は「教育と遺傳」といふ本を書いて、その中にこの暗示と教育との關係を詳しく述べて居ますが、その言に「子供がこの世に現れた瞬間に於ては、催眠に類した状態に居る。」といつて居ます。果して然りとすれば、子供は特に暗示に感じ易いものではないはなければなりません。併しこれは子供が催眠術にかゝり易いといふのではありません。幼児は却つて催眠せしめ難いもので、長ずるに従つて

次第に催眠し易くなるものであります。何故かといふと、催眠するには注意を集中することが必要であるが、注意を集中するには、或程度まで精神の發達することが必要であるからです。そこで幼児には催眠を施すことが不可能であると同時に、却つて催眠は不必要だといふことが出來ます。何故かといふに、幼児には獨立心と批判心が缺けて居るから、別に催眠させずとも、暗示に感じ易いものであるからであります。これを暗示感性が強いと申しますが、これは子供の供述杯を研究して見ると、明らかに分ります。子供に向つて種々の暗示的質問を發して見ますと、それに影響されて、いろ／＼の答をしますが、それを調べて見ると、自分の想像に浮かんだことをば、恰も實際見たり聞いたりしたことやうに思ひなして居ることが少くありません。それを基礎として裁判などをすれば、飛んだ間違ひに陥ることになりませう。かくの如く、子供は暗示に對して、極めて感じ易い

許りでなく、その暗示は中々長く迄ついくものであります。殊にそれが本能と結びつくと、甚だ大なる勢力になつて來ます。例へば暗い部屋に於て「おばけ」が居ることなどを暗示しますと、暗黒に對しては恐怖本能が發動するやうになり、一生に亘つてそれが止まらくなりません。大人になれば教育の力によつて、「おばけ」なるものを信じなくなります。それが、それは理窟上さう信じて居るだけで、實際暗い處を通るときなどは、幼時暗示された「おばけ」の形が眼に浮かんで來て、恐怖を感じるものです。これに打ち克つには、偉大なる意志の働きを要する所を見ると、幼時に於ける暗示の效力が如何に永續するものであるか知られます。

二

教育の目的を達するには、各個人の性質を少しづつ變へて、それに適合するやうにして行くことが必要であるが、それには其本人自らが現在よりは變化し得ることを確信するのが第一歩でありま

す。修養々々といひますが、修養の第一條件は、自分が理想に向つて一歩づゝでも近づき得ることを確信するにあります。その確信が無くては、百の大家が百の工夫を説いても、それは何の役にも立ちますまい。幼児教育の場合でもさうです、子供をして父兄なり教育者なりの示す理想に近づき得るといふこと、換言すれば自分は出来る善くなるといふことを信じさせなければ、教育は出来ません。

私は昨日町を通行中、驚くべき事を目撃しました。それは一軒の魚屋の親父の言動です、親父は店を掃除して居ましたが、次の暗い部屋には二三人の子供が遊んで居ました。その時子供は何か取つたとか、やらないとかいつていひ争つて居ましたが、親父はそれを聞いて眼を瞋らして、「この馬鹿野郎又喧嘩をしやがる、引つばたいてやるぞ」といつてもつて居たはうきを振り上げ、子供に向つて宣戦を布告しました。何と驚くべき教育では

ありませんか。子供の喧嘩を非常な悪事のやうに心得て、それを矯正することに骨を折り、自ら子供と喧嘩する矛盾を敢へてして、而もその滑稽なる矛盾を知らずに居るこの親父は可憐な奴ではありませうが、日々かういふ教育を受けて育つて行く子供は、大きくなつてから、どんな人間になるかと思ふと寒心に堪へません。

この事實について考ふべきことが二つあります。一つは子供の些細なる喧嘩に對して、さう一圖に壓迫と制裁とを加へる必要があるかといふことです。私は或程度まで子供の喧嘩は放任しておいてもよい、又放任しておいて自然にその結果を味はせる必要の存することもある、又喧嘩そのものが子供の社會意識の發達を助けることもあるといふ風に考へて居ます。併しこの方は目下の問題と直接關係がありませんから、こゝには述べません。今一つはこの魚屋の親父の如く、子供の非を眞向から咎めて、事毎に「馬鹿野郎」と「しようのねえ

奴」とを連發して、子供自身に自分は「しようのねえ馬鹿野郎」だといふ考をもたせるに至ることの教育上極めて危険なやり方であるといふことでもあります。私はこのやり方を改めて、被教育者をして向上の確信を得させて、歩一步これを理想の方に近づかせて行くやり方にしたいと思ふのであります。向上の確信といふと、大袈裟のやうであるがどんな幼児に對しても、この式の教育は極めて必要で、而も可能であると思ひます。

例へば子供が轉んだとする、この事件に對して長上の執るべき態度に二つあります。一つは「さぞ痛かつたであらう、おう／＼こんなに赤くなつて、泣くんぢやない」といふ風に同情的の態度をとつていたはることです。併しこのやり方でいくと、子供は必ず泣くにきまつて居ます。少し位痛くても痛かない強い子を作るには、そのやり方では駄目であります。第二は轉んだ子供が泣き出すに先つて機先を制し、「オヤ、坊やは強い、轉んでも

泣かない、エライ」と賞めてしまふのです。賞められてから泣く譯には行かないから我慢をする。

一回成功すれば、子供の方に「向上の可能を確信する心」が出来ます。その確信が次第に基礎を固めて来れば、轉んでもだまつて放任しておく、遂には獨りで起きて来て、轉んでも泣かなかつたことを報告しに来るやうになります。たゞ僅かに「泣くんぢやない」と「泣かない」との違ひでありませんが、第一のやり方でいくと、幾つになつても人が起しに来るまで、ワイ／＼いつて泣きながらまつて居る子になります。暗示の與へ方について、如何に合理的の注意が必要であるかは、この簡單なる例によつても知ることが出来ませう。

ですから子供に對しては、「善い事をなし得る、悪い事をなし得ぬ」といふ確信を與へるのが第一の必要條件であります。これを催眠術の場合に比べて見ると、催眠者に向つて「貴方の手は動かぬ」といへば、實際動けなくなり、又吃音者に向つて

「貴方はどもらずに話し得る」といへば、その通りになる。幼児の教育に於ても、これと同様のことが行はれるのであつて、それ／＼の年齢及び境遇に適した事柄について、少しづつ巧みな暗示を與へて行けば歩一步教育者の理想とする所に引き上げて行くことが出来るのであります。

ギョーは子供の行爲なり動機なりに對して、善意の解釋を加へることは、道徳教育の主要素であるといつて居ます。性善惡論は昔から議論の岐れる所でありますが、教育者の態度としては、子供の性善を假定し、それを發させるやうに努めるのが至當の途かと考へます。魚屋の如く、何でも子供の所爲を悪しざまに解して、眞向からこれを抑壓しようとするのは誤つてゐます。子供の執拗でもさうです。正面からその執拗を罵つてこれを壓迫しようとする、却つてその傾向を増させるといふ結果に終つてしまひます。それよりも子供の行爲を善意に解して、その根元に善良なる意志を認め

てやつたならば、その悪い傾向も芽生えの中につ
み去ることが出来るであらうと思ひます。この事

は再犯者に關する統計が、反面から明らかに證據
だて、居りますすま（つゝ）

京阪神の幼稚園視察

（東京市保育研究会に於ける講演）

東京市麹町小學校長

土 川 五 郎

私が此度關西に旅行いたしましたのは、京都に
開催せらるゝ保育大會に出席致したいのと、京阪
地方の保育の實況を視察いたしたいのと、此二つ
の目的の爲めでした。見聞いたしました事を日を
追ふて順にお話する事に致します。十月六日に新
橋を立つて七日の朝京都に著いて、保育大會の幹
事を訪問しました。八日に保育會に出席致しまし
た。會場に出て見ると、四百五十人ほどの保姆が
堂々と列席して居られました、男子は其兩側に小
さくなつて控へて居りました。保育會はかくてこ
そと思ひました。

私が此度關西に旅行いたしましたのは、京都に
開催せらるゝ保育大會に出席致したいのと、京阪
地方の保育の實況を視察いたしたいのと、此二つ
の目的の爲めでした。見聞いたしました事を日を
追ふて順にお話する事に致します。十月六日に新
橋を立つて七日の朝京都に著いて、保育大會の幹
事を訪問しました。八日に保育會に出席致しまし
た。會場に出て見ると、四百五十人ほどの保姆が
堂々と列席して居られました、男子は其兩側に小
さくなつて控へて居りました。保育會はかくてこ
そと思ひました。

聽て井上法學博士が開會の辭を述べられまし
た。博士は京都市長であつて、此會の會長をして
居らるゝのです。私は未だ會て是程適切な開會の
辭を聞いた事がありません。桃太郎は氣はやさし
くて力もちであつた。氣のやさしいとは心持の順
良を示し、力もちとは體力意力が共に強いを現
はして居る。桃太郎は人間の最高理想をあらはし
たものである。此桃太郎の出來上るには胎育も必
要教育も大切です、而して先づ最初健全なる父母
を得なければ、單獨に桃太郎は生れて來る者でな
い、健全なる結婚を得て次で保育教育の必要が起